公共調達の適正化について（平成18年8月25日付財計第2017号）に基づく随意契約に係る情報の公表（公共工事）

公共工事の名称、場所、期間及び種別	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	法人番号	随意契約によることとした会計法令の根拠条文及び理由（企画競争又は公募）	予定価格（税込）	契約金額（税込）	落札率	再就職の役員の数	備考
金沢港港湾機能向上検討業務 金沢港 令和4年6月28日～令和5年2月28日 建設コンサルタント等	分任支出負担行為担当官 金沢港湾・空港整備事務所長　阿部　武 北陸地方整備局　金沢港湾・空港整備事務所 石川県金沢市大野町４－２－１	令和4年6月28日	金沢港港湾機能向上検討業務 沿岸技術研究センター・エコー設計共同体 東京都港区西新橋一丁目１４番２号	－	会計法第２９条の３第４項 本業務は、近年の高波の影響等による金沢港利用上の課題を整理するとともに、港内静穏度解析及び港内埋没対策検討を踏まえて、金沢港の港湾機能向上に向けた対応策を検討するものである。 また、本業務の検討にあたっては、検討内容について、議論する検討会を設置し、その運営、説明資料の作成、議事録や結果に関する取りまとめをおこなうなど、高度な専門知識を必要とすることから、簡易公募型プロポーザル方式による選定を行った。 金沢港港湾機能向上検討業務　沿岸技術研究センター・エコー設計共同体は、技術提案書及　びヒアリングによる総合評価を行った結果、当該業務について、総合的に優れた提案を行った者として特定された者である。 以上の理由により、会計法第29条の３第４項（契約の性質又は目的が競争を許さない場合）の規定により、金沢港港湾機能向上検討業務　沿岸技術研究センター・エコー設計共同体と　随意契約をするものである。	20,251,000	19,195,000	94.79%	－	